

auのIPv6対応について

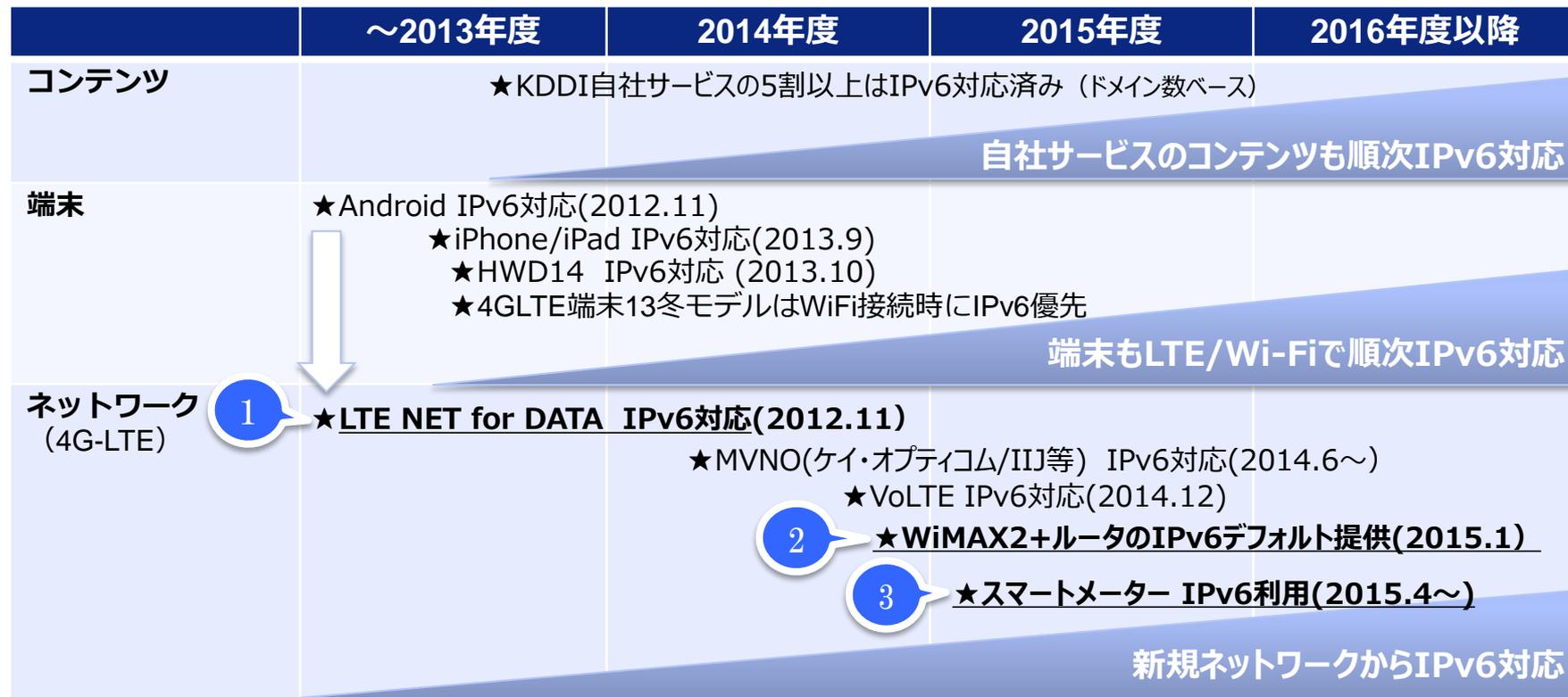
2015年9月28日

KDDI株式会社



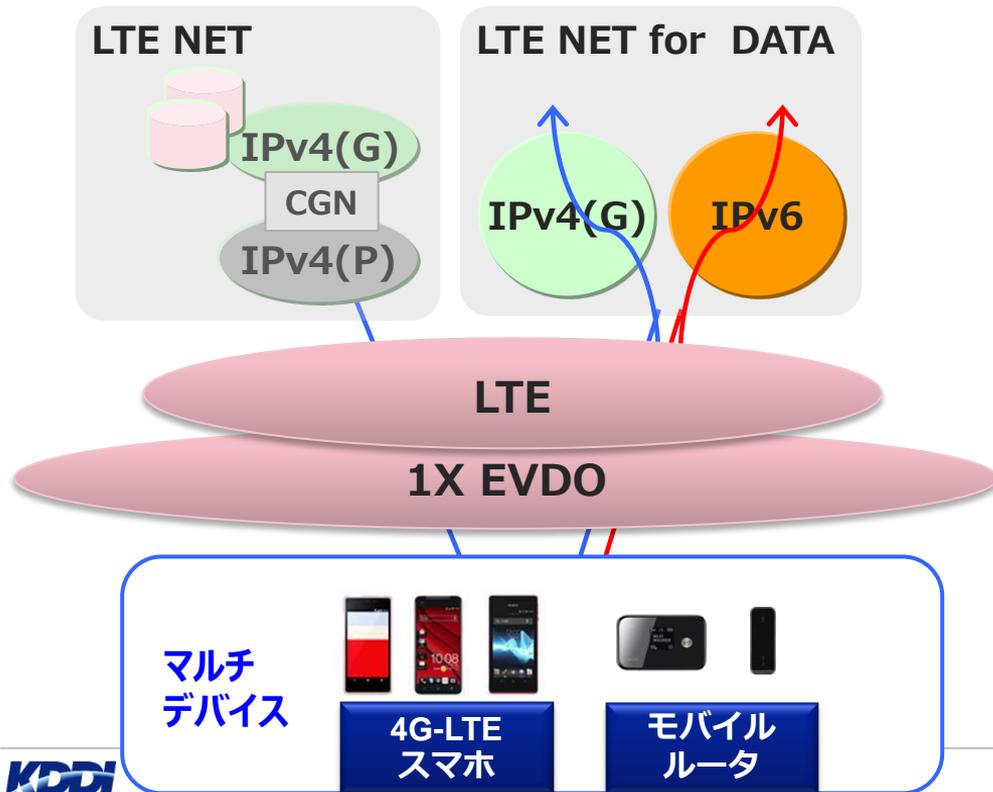
これまでの取組み

スマートフォンのIPv6対応に合わせてIPv6インターネット接続サービス「LTE NET for DATA」を提供したり、WiMAX2+のローンチでIPv6のデフォルト提供を開始するなど、IPv6対応を進めてきた。



① LTE NET for DATA (IPv6インターネット接続サービス)

- IPv6で通信したいお客様向けに、IPv6インターネット接続サービス「LTE NET for DATA」を2012年11月に提供開始
- モバイルルータだけでなく、4G-LTEスマートフォンでもご利用可能



【サービス仕様】

- LTE NET for DATAのお申し込みが必要
- 対象端末は、モバイルルータ等のデータ端末の他、4G-LTEスマートフォンでもご利用可能
- 端末のネットワーク設定 (APN) を変更することで利用可能
- CDMA 1Xエリア、海外エリアなどではIPv4接続

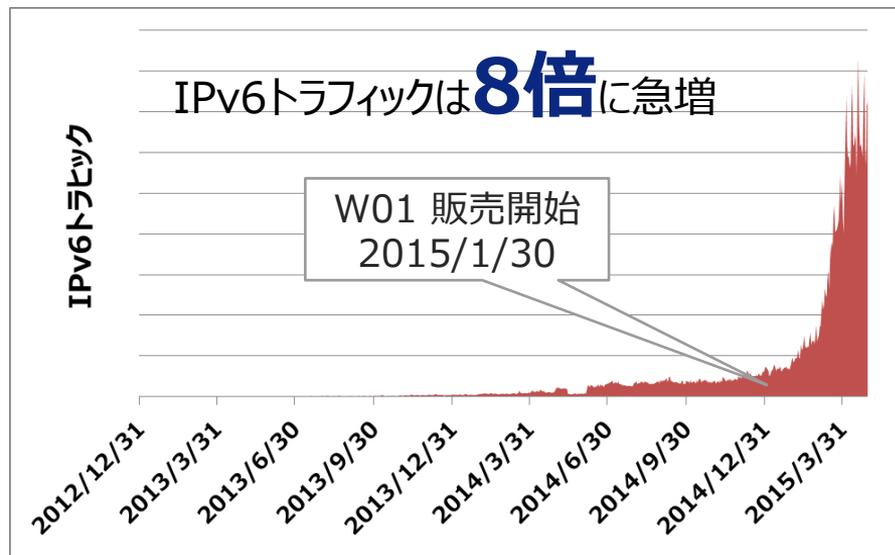
② WiMAX2+搭載モバイルルータのIPv6デフォルト提供

- 2015年1月発売のWiMAX2+対応モバイルルータ（W01）※から、IPv6のデフォルト提供を開始
- お客様は意識せずにIPv6を利用可能となり、IPv6のトラフィックが8倍に急増

※Speed Wi-Fi NEXT W01

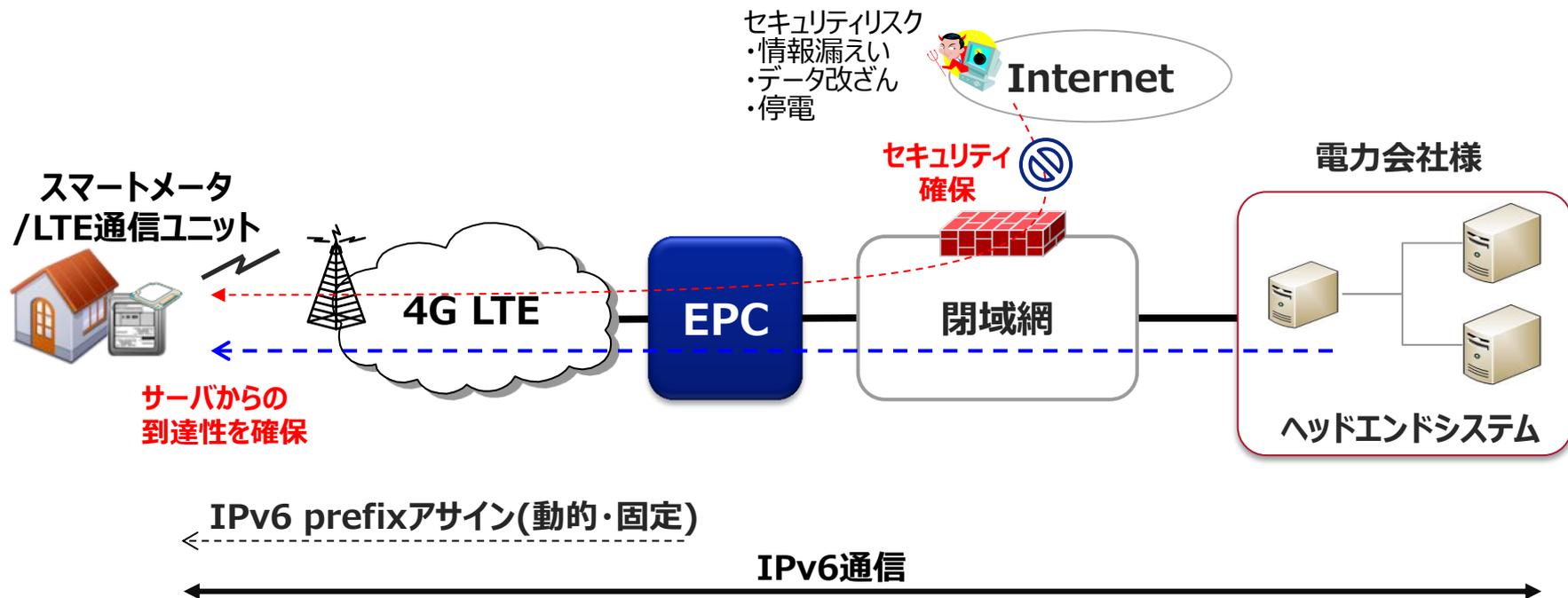
「WiMAX 2+」、「au 4G LTE」に対応したモバイルWi-Fiルーター

	WiMAX (UQ)	WiMAX2+ (UQ)	IPタイプ (初期値)
wx01 	○	○	IPv4
w01 	× 	○	IPv4&IPv6

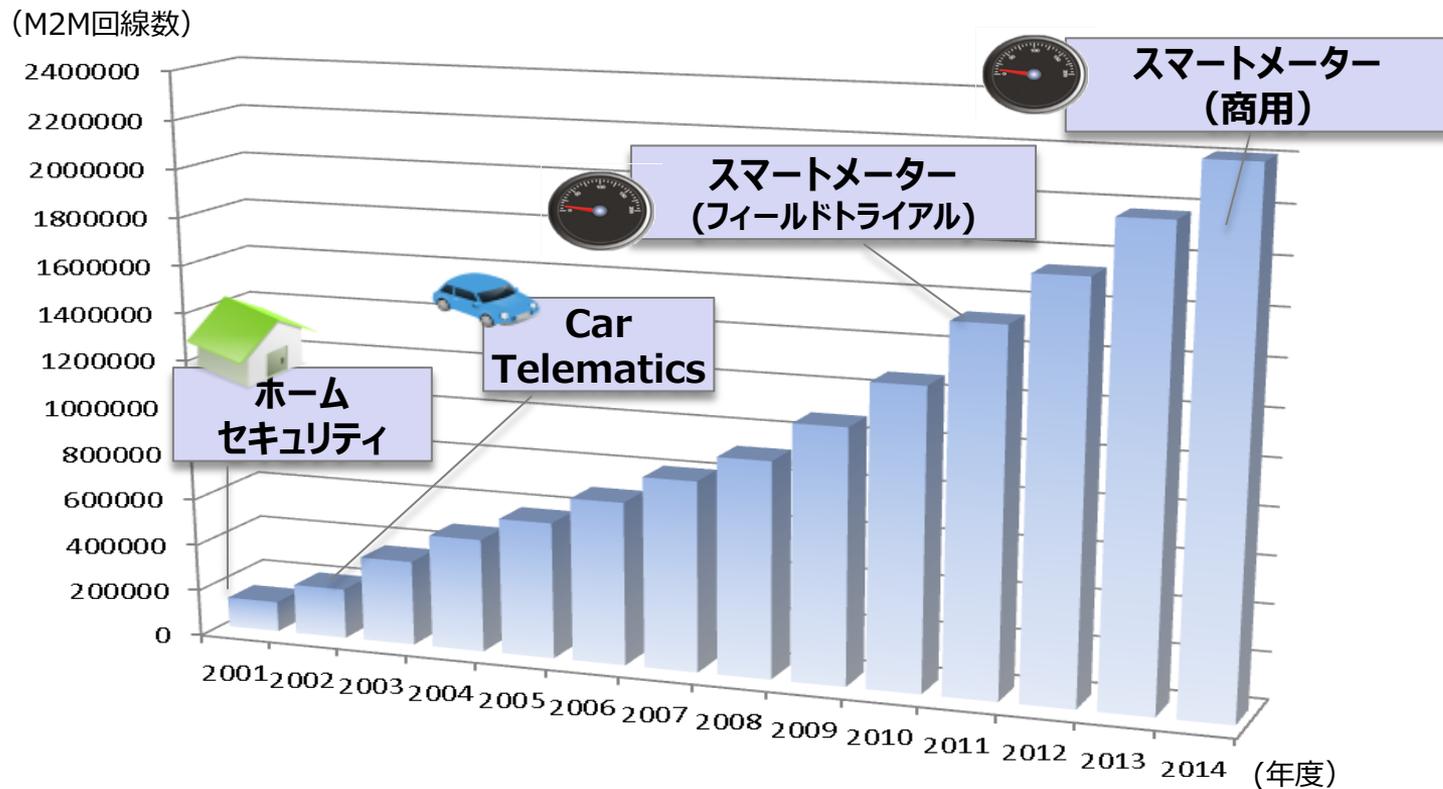


③スマートメータでのIPv6対応

- 2015年4月よりスマートメータのIPv6対応を開始
- ヘッドエンドシステムからの到達性を考えるとIPv6の利用が望ましいが、セキュリティ面の課題があるため現在は閉域網での利用に限定。



2014年度に**200万回線**を突破！



auのIPv6対応の考え方

これまで

2010年度 2011年度 2012年度 2013年度 2014年度 2015年度

サービス提供
インフラ

キャリアメール、
災害伝言板、青少年フィルター等

IPv4

3Gスマホ導入後、急激なスマホシフトが発生しIPアドレス枯渇リスクが顕在化。当時選択可能な手段としてIPv4 NATを導入



モバイル
インフラ

3Gスマホ

IPv4

4G LTE

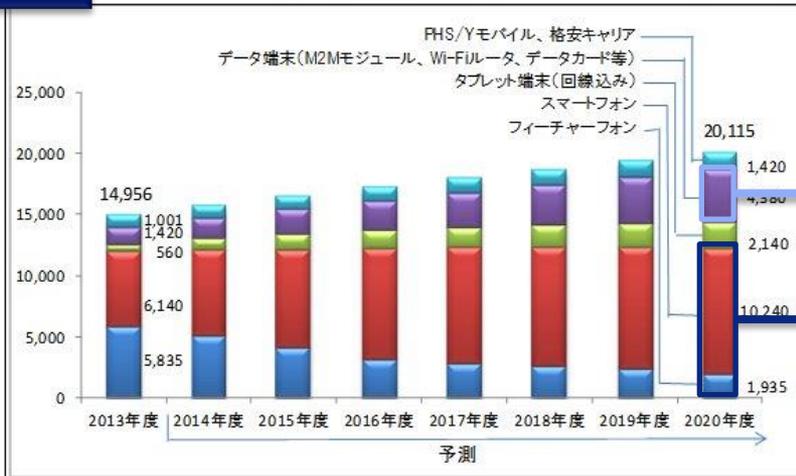
IPv6 Ready
(SMS/VoLTE)

新たなインフラとして導入した4G LTEはv6Readyとすることができた。一方サービス提供インフラは3Gと共用としていることからIPv4を前提とした基盤を構築。

これから

携帯端末形態別契約数予測

(単位：万契約)

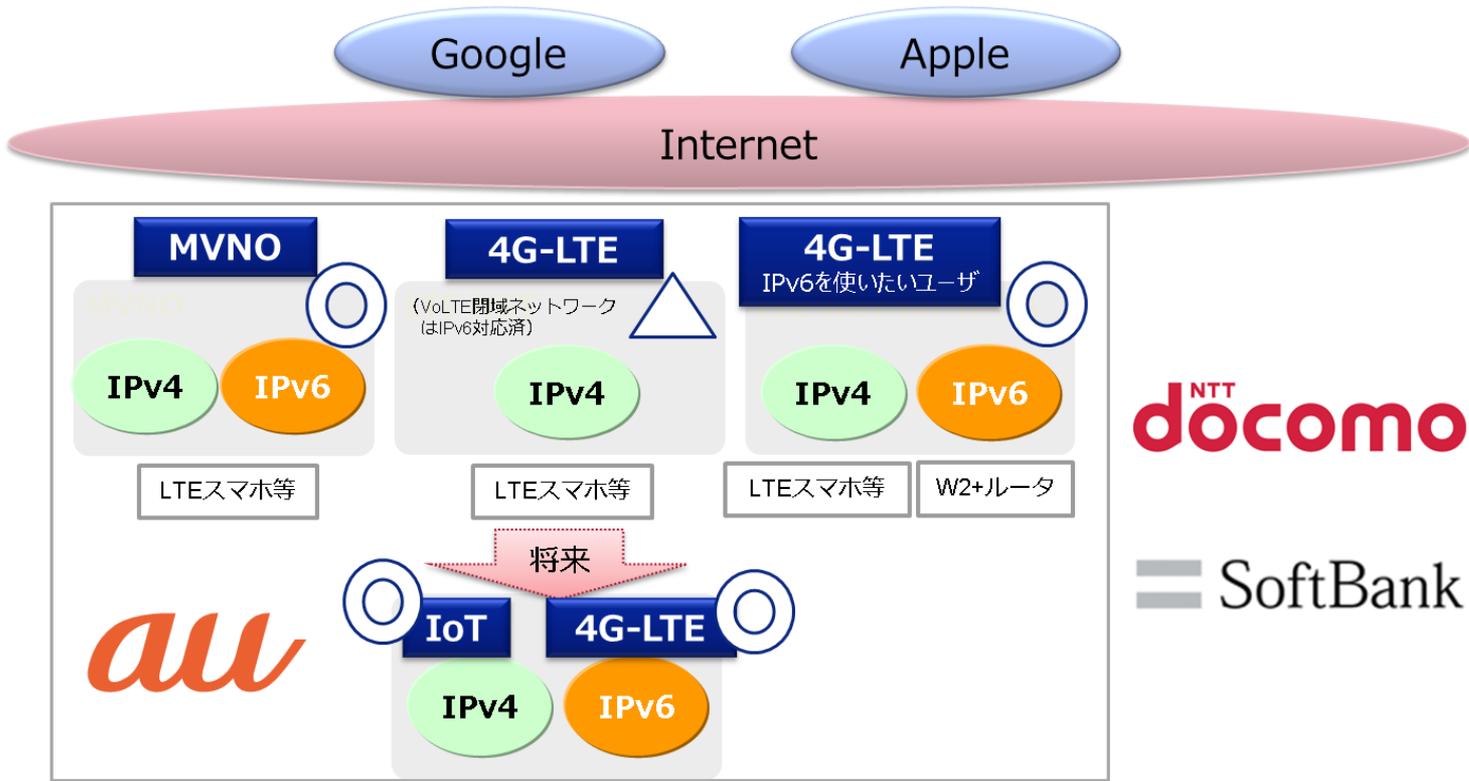


IoT市場は今後大幅な市場拡大が見込まれる
(2013年度比 3.08倍)
⇒スマートメーターでIPv6対応済

スマートフォン市場は鈍化傾向
⇒設備更改タイミングに合わせてIPv6対応を進める方向で検討

出典：国内携帯端末(*)市場の将来動向予測（シードプランニング）

- 4G-LTEスマートフォンも設備更改タイミングに合わせてIPv6対応を進める方向で検討
- IPv6はセキュリティやコンテンツのIPv6対応など課題もあり、業界全体で取組んでいくべき



Designing The Future

KDDI